

各学科における各段階の到達目標

■文学部 日本語日本文学科 到達目標（国語）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①中高教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②教職並びに中高教職課程の特質と概要を理解する。	①中高教科「国語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、国語学・国文学・漢文学・書道の各専門分野より修得する。 ②中高教科「国語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム(発達と障害を含む)に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「国語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、国語学・国文学・漢文学・書道の各専門分野より修得する。 ②中高教科「国語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「国語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、国語学・国文学・漢文学の各専門分野より修得する。 ②中高教科「国語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高国語科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。
	後期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③一人ひとりの生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。	①中高教科「国語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、国語学・国文学・漢文学の各専門分野より修得する。 ②中高教科「国語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高国語科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、教材分析や授業構想のための知識・技能を身につける。
第3年次	前期	①カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①中高教科「国語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、国語学の分野より修得する。 ②中高教科「国語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高国語科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「国語」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①中高教科「国語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、国語学の分野より修得する。 ②中高教科「国語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高国語科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「国語」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
第4年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	
	後期	①「教職実践演習(中高)」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

■文学部 日本語日本文学科 到達目標（書道）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①高校教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②教職並びに高校教職課程の特質と概要を理解する。	①高校教科「書道」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、書道・国文学・漢文学の各専門分野より修得する。 ②高校教科「書道」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム(発達と障害を含む)に関する基礎的知識を修得する。	①高校教科「書道」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、書道・国文学・漢文学の各専門分野より修得する。 ②高校教科「書道」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。	①高校教科「書道」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、書道・国文学・漢文学の各専門分野より修得する。 ②高校教科「書道」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③高校書道科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。
	後期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③一人ひとりの生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。	①高校教科「書道」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、書道・国文学・漢文学の各専門分野より修得する。 ②高校教科「書道」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③高校書道科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、教材分析や授業構想のための知識・技能を身につける。
第3年次	前期	①カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①高校教科「書道」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、書道史の分野より修得する。 ②高校教科「書道」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①高校教科「書道」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、書論・鑑賞の分野より修得する。 ②高校教科「書道」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
第4年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	①高校教科「書道」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①「教職実践演習(中高)」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

■文学部 歴史文化学科 到達目標（社会）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①高校教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②教職並びに高校教職課程の特質と概要を理解する。	①中学教科「社会」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、基礎教育科目・専門教育科目の学習を通じて修得する。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム(発達と障害を含む)に関する基礎的知識を修得する。	①中学教科「社会」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、基礎教育科目・専門教育科目の学習を通じて修得する。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。	①中学教科「社会」に関わる原理と教科内容及びその指導方法についての基礎的知識と技能を修得する。併せて、中学教科「社会」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、専門教育科目群、とりわけ「歴史文化研究の基礎」科目群に相当する授業科目の学習を通して修得する。
	後期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③一人ひとりの生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。	①中学教科「社会」指導法の基礎知識を修得し、指導案の作成と模擬授業とを通して、授業実践力を身につける。併せて、中学教科「社会」を教授するに足る基礎的知識と技能を、専門教育科目群、とりわけ「歴史文化研究の基礎」「歴史文化の諸相」科目群に相当する授業科目の学習を通じて修得する。
第3年次	前期	①カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法も含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①これまで修得してきた歴史、地理、文化の専門領域における知識と中学教科「社会」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①これまで修得してきた歴史、地理、文化の専門領域における知識と中学教科「社会」の内容との関連性について、より深く自主的に探究する方法を身につける。
第4年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	①これまで蓄積してきた歴史、地理、文化の専門領域における知識と中学教科「社会」の内容とを有機的に関連させ、質の高い教育実践を目指す意識と態度を身につける。
	後期	①「教職実践演習(中高)」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	①これまでに蓄積してきた歴史、地理、文化の専門領域における知識と中学教科「社会」の内容とを有機的に関連させ、質の高い教育を実現することのできる意識と自信を確立する。
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法も含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

■文学部 歴史文化学科 到達目標（地理歴史）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①高校教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②教職並びに高校教職課程の特質と概要を理解する。	①高校教科「地理歴史」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、基礎教育科目・専門教育科目の学習を通じて修得する。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム(発達と障害を含む)に関する基礎的知識を修得する。	①高校教科「地理歴史」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、基礎教育科目・専門教育科目の学習を通じて修得する。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。	①高校教科「地理歴史」に関わる原理と教科内容の基礎的知識と技能を修得する。併せて、高校教科「地理歴史」を教授するに足る基礎的知識と技能を、専門教育科目群、とりわけ「歴史文化研究の基礎」科目群に配当する授業科目の学習を通して修得する。
	後期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③一人ひとりの生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。	①高校教科「地理歴史」指導法の基礎知識を修得し、指導案の作成と模擬授業を通して、授業実践力を身につける。併せて、高校教科「地理歴史」を教授するに足る基礎的知識と技能を、専門教育科目群、とりわけ「歴史文化研究の基礎」「歴史文化の諸相」科目群に配当する授業科目の学習を通じて修得する。
第3年次	前期	①カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法も含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①これまで修得してきた歴史、地理、文化の専門領域における知識と高校教科「地理歴史」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①これまで修得してきた歴史、地理、文化の専門領域における知識と高校教科「地理歴史」の内容との関連性について、より深く自主的に探究する方法を身につける。
第4年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	①これまで蓄積してきた歴史、地理、文化の専門領域における知識と高校教科「地理歴史」の内容とを有機的に関連させ、質の高い教育実践を目指す意識と態度を身につける。
	後期	①「教職実践演習(中高)」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	①これまでに蓄積してきた歴史、地理、文化の専門領域における知識と高校教科「地理歴史」の内容とを有機的に関連させ、質の高い教育を実現することのできる意識と自信を確立する。
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法も含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

■文学部 英語グローバル学科英語文化専攻 到達目標（英語）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①中高教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②教職並びに中高教職課程の特質と概要を理解する。	①中高教科「英語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、英語学・英語コミュニケーション・異文化理解の各専門分野より修得する。 ②中高教科「英語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム(発達と障害を含む)に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「英語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、英語学・英語文学・英語コミュニケーション・異文化理解の各専門分野より修得する。 ②中高教科「英語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。	①中高英語科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。
	後期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③一人ひとりの生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。	①中高教科「英語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、英語学・英語文学・英語コミュニケーション・異文化理解の各専門分野より修得する。 ②中高教科「英語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高英語科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、教材分析や授業構想のための知識・技能を身につける。
第3年次	前期	①カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①中高教科「英語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、英語学・英語文学・異文化理解の各専門分野より修得する。 ②中高教科「英語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高英語科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「英語」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①中高教科「英語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、英語学・英語文学の各専門分野より修得する。 ②中高教科「英語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高英語科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「英語」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
第4年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	①中高教科「英語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、異文化理解分野より修得する。 ②中高教科「英語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①「教職実践演習(中高)」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	①中高教科「英語」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

## ■教育学部 教育学科 到達目標（幼、小、中、特支）

### (1) 小学校教諭教職課程

小学校教諭教職課程においては、以下のとおり、各学年・学期の目標を定める。

履修年次	到達目標
第1年次	前期には、教育や教職に対する基本的な内容を理解する。後期には、教育や心理学についての基礎的な内容や、各教科の内容について理解する。1年次の学修を通して、教育に対する興味関心を高め、主体的に学修に臨むことができるようにする。
第2年次	前期には、教育課程の知識を踏まえながら、各教科の内容を中心に、授業の指導法についても理解する。後期には、授業の指導法を中心に、各教科の内容についても理解する。2年次を中心に、1年次後期と3年次前期の学修を通して、教育に関わる幅広い視野を身につける。
第3年次	前期には、授業の指導法について理解するとともに、これまで学んだ教育の内容と授業の指導法を小学校現場での教育実践に関連付けて考えることができるようにする。後期には、大学で学修した内容を、小学校教育実習での実践に活用できるようにする。また、小学校教育実習での課題を踏まえて、各教科の授業について探究できるようにする。2年次後期と3年次の学修を通して、各教科の授業力量を高め、専門とする教科について探究することができるようにする。
第4年次	前期には、3年次までの学修を踏まえて、自身の専門分野について探究できるようにする。後期には、小学校教諭教職課程の学修を振り返り、自身の専門教科・領域について探究し続けようとする態度を身につける。

### (2) 中学校教諭（国語）教職課程

中学校教諭（国語）教職課程においては、以下のとおり、各学年・学期の目標を定める。

履修年次	到達目標
第1年次	前期には、教育や教職に対する基本的な内容を理解する。後期には、教育や心理学についての基礎的な内容や、教科の内容について理解する。1年次の学修を通して、教育に対する興味関心を高め、主体的に学修に臨むことができるようにする。
第2年次	教育課程の知識を踏まえながら、教科の内容のうち国語学と漢文学を中心に理解する。また、教科の指導法の基礎的な内容を理解する。2年次を中心に、1年次後期と3年次前期の学修を通して、教育に関わる幅広い視野を身につける。
第3年次	教科の内容のうち国文学を中心に、書道についても理解する。また、教科の指導法の発展的な内容を理解する。2年次から3年次の学修を通して、教科の授業力量を高め、国語科を専門教科として探究することができるようにする。
第4年次	前期には、教科の内容のうち、国文学の発展的な内容を理解する。また、これまで学んだ教育の内容と授業の指導法を中学校現場での教育実践に関連付けて考え、中学校教育実習での実践に活用できるようにする。後期には、中学校教諭教職課程の学修を振り返り、国語科教育について探究し続けようとする態度を身につける。

### (3) 中学校教諭（英語）教職課程

中学校教諭（英語）教職課程においては、以下のとおり、各学年・学期の目標を定める。

履修年次	到達目標
第1年次	前期には、教育や教職に対する基本的な内容を理解する。後期には、教育や心理学についての基礎的な内容や、教科の内容について理解する。1年次の学修を通して、教育に対する興味関心を高め、主体的に学修に臨むことができるようにする。
第2年次	教育課程の知識を踏まえながら、教科の内容のうち、英語の言語学的側面を理解するとともに、中学教員として必要な英語の4技能の基礎を固める。また、教科の指導法の基礎的な内容を理解する。2年次を中心に、1年次後期と3年次前期の学修を通して、教育に関わる幅広い視野を身につける。
第3年次	教科の内容のうち、英語文法及び英語文学の発展的な内容を理解・考察するとともに、中学教員として必要な英語の4技能の実践力を高める。また、教科の指導法の発展的な内容を理解し、授業実践につなげる。2年次から3年次の学修を通して、教科の授業力量を高め、英語科を専門教科として探究することができるようにする。
第4年次	前期には、これまで学んだ教科の内容と授業の指導法を中学校現場での教育実践に関連付けて考え、中学校教育実習での実践に活用できるようにする。また、後期には、中学校教諭教職課程の学修を振り返り、英語科教育について探究し続けようとする態度を身につける。

#### (4) 幼稚園教諭教職課程

幼稚園教諭教職課程においては、以下のとおり、各学年・学期の目標を定める。

履修年次	到達目標
第1年次	前期には、教育や教職に対する基本的な内容を理解する。後期には、教育や心理学についての基礎的な内容や、保育の内容について理解する。1年次の学修を通して、教育に対する興味関心を高め、主体的に学修に臨むことができるようにする。
第2年次	2年次には、教育課程の知識を踏まえながら、保育の指導法を中心に理解する。また、後期には、保育の領域について理解する。2年次を中心に、1年次後期と3年次前期の学修を通して、教育に関わる幅広い視野を身につける。
第3年次	3年次には、保育の領域を中心に理解する。また、前期には、保育の指導法についても理解するとともに、これまで学んだ保育の領域と保育の指導法を幼稚園現場での教育実践に関連付けて考えることができるようにする。後期には、大学で学修した内容を、幼稚園教育実習での実践に活用できるようにする。
第4年次	前期には、3年次までの学修を踏まえて、自身の専門分野について探究できるようにする。後期には、幼稚園教諭教職課程の学修を振り返り、自身の専門領域について探究し続けようとする態度を身につける。

#### (5) 特別支援学校教諭教職課程

特別支援学校教諭教職課程においては、以下のとおり、各学年・学期の目標を定める。

履修年次	到達目標
第1年次	前期には、教育や教職に対する基本的な内容を理解する。後期には、教育や心理学についての基礎的な内容について理解する。1年次の学修を通して、教育に対する興味関心を高め、主体的に学修に臨むことができるようにする。
第2年次	2年次には、心身に障害のある児童の心理、生理、病理を中心に理解する。また、後期には、心身に障害のある児童の指導法について理解する。2年次の学修を通して、特別支援教育に対して興味関心を高め、主体的に学修に臨むことができるようにする。
第3年次	心身に障害のある児童の心理、生理、病理とその指導法について理解する。また、免許に定められている特別支援教育領域以外の内容について総合的に理解する。これまで学んだ特別支援教育領域の知識と指導法の知識を特別支援学校現場での教育実践に関連付けて考えられるようにする。
第4年次	前期には、心身に障害のある児童の指導法について理解する。後期には特別支援学校教諭教職課程の学修を振り返り、自身の専門領域について探究し続けようとする態度を身につける。

■健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科 到達目標（保健体育）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②中高教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ③教職並びに中高教職課程の特質と概要を理解する。 ④特別な配慮を要する生徒への対応方法も含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「スポーツの文化・歴史」・「運動生理学」・「バスケットボール」・「ハンドボール」・「ダンスⅠ」・「柔道」の各分野から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム（発達と障害を含む）に関する基礎的知識を修得する。 ③情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「スポーツ運動学」・「スイミング」・「トラックアンドフィールド」・「体操」・「ダンスⅡ」・「救急処置演習」の各分野から修得し、教科を指導するにあたり専門知識や技能を探究する方法を身につける。 ②「体育原理」によって体育の理念並びに体育に関する思想に関して中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識を修得する。 ③中高保健体育科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「器械運動」・「バレーボール」・「剣道」・「ダンスⅢ」の各分野から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。 ②スポーツ指導をするにあたっての経営管理の基礎的知識を修得する。 ③学校における衛生及び保健指導についての基礎的知識を修得する。 ④中高保健体育科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、教材分析や授業構想のための知識・技能を身につける。
	後期	①人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。 ②道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ③総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ④一人一人の生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。 ⑤教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「剣道」から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。 ②スポーツ実施上の心理的特性について基本的知識を修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。 ③中高保健体育科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「保健体育」の授業を構想・実践・省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
第3年次	前期	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法も含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「スポーツ社会学」から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②総合的な学習及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ③教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「公衆衛生学」から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法も含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	
第4年次	前期		①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「卓球」から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。
	後期	①「教職実践演習（中高）」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「バドミントン」から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。

■健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科 到達目標（保健体育）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①中高教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②教職並びに中高教職課程の特質と概要を理解する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「スポーツの文化・歴史」・「運動生理学」・「救急処置演習」・「スイミング」・「体操」・「ダンスI」の各分野から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。 ②スポーツ実施上の心理的特性について基本的知識を修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム(発達と障害を含む)に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「トラックアンドフィールド」・「器械運動」・「バレーボール」・「バスケットボール」・「ダンスII」の各分野から修得し、教科を指導するにあたり専門知識や技能を探究する方法を身につける。 ②「体育原理」によって体育の理念並びに体育に関する思想に関して中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識を修得する。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「ハンドボール」・「ダンスIII」の各分野から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。 ②スポーツ指導をするにあたっての経営管理の基礎的知識を修得する。 ③学校における衛生及び保健指導についての基礎的知識を修得する。 ④中高保健体育科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。
	後期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③一人ひとりの生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「剣道」・「スポーツ社会学」から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。 ②中高保健体育科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、教材分析や授業構想のための知識・技能を身につける。
第3年次	前期	①カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①中高保健体育科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「保健体育」の授業を構想・実践・省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「柔道」・「公衆衛生学」から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。 ②中高教科「保健体育」の授業を構想・実践・省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。 ③中高保健体育科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「保健体育」の授業を構想・実践・省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
第4年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「卓球」から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。
	後期	①「教職実践演習(中高)」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	①中高教科「保健体育」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、「バドミントン」から修得し、教科を指導するにあたり専門的知識や技能を探究する方法を身につける。
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

■生活環境学部 生活環境学科 到達目標（家庭）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①中高教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②教職並びに中高教職課程の特質と概要を理解する。	①中高教科「家庭」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、被服学・住居学の各専門分野より修得する。 ②中高教科「家庭」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム（発達と障害を含む）に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「家庭」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、家庭経営学・被服学・住居学の各専門分野より修得する。 ②中高教科「家庭」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「家庭」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、被服学の分野より修得する。 ②中高教科「家庭」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高家庭科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。
	後期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③一人ひとりの生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。	①中高教科「家庭」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ②中高家庭科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、教材分析や授業構想のための知識・技能を身につける。
第3年次	前期	①カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①中高教科「家庭」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、被服学の分野より修得する。 ②中高家庭科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「家庭」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①中高教科「家庭」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、家庭経営学・食物学・保育学の分野より修得する。 ②中高教科「家庭」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高家庭科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「家庭」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
第4年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	①中高教科「家庭」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、食物学の分野より修得する。 ②中高教科「家庭」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①「教職実践演習（中高）」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

■社会情報学部 社会情報学科 到達目標（情報）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①高校教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②教職並びに高校教職課程の特質と概要を理解する。	①高校教科「情報」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、情報社会（職業に関する内容を含む）・情報倫理、コンピュータ・情報処理、情報通信ネットワークの分野より修得する。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム（発達と障害を含む）に関する基礎的知識を修得する。	①高校教科「情報」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、コンピュータ・情報処理、情報システム、マルチメディア表現・マルチメディア技術の各専門分野より修得する。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。	①高校教科「情報」に関わる原理と教科内容及び、その指導法に関わる基礎的知識と技能を習得する。併せて高校教科「情報」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、情報社会（職業に関する内容を含む）・情報倫理、コンピュータ・情報処理、情報通信ネットワークの各専門分野より修得する。
	後期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③一人ひとりの生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。	①高校教科「情報」指導法の基礎知識について学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて高校教科「情報」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、情報社会（職業に関する内容を含む）・情報倫理、コンピュータ・情報処理、情報システムの各専門分野より修得する。
第3年次	前期	①カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①高校教科「情報」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①高校教科「情報」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
第4年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	①高校教科「情報」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①「教職実践演習（中高）」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	①高校教科「情報」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

■音楽学部 演奏学科 到達目標（音楽）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①中高教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②教職並びに中高教職課程の特質と概要を理解する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、和声法より修得する。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム（発達と障害を含む）に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、ソルフェージュより修得する。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、声楽・器楽・指揮法の各専門分野より修得する。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高音楽科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。
	後期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③一人ひとりの生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、声楽・器楽・指揮法の各専門分野より修得し、理解を深める。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高音楽科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、教材分析や授業構想のための知識・技能を身につける。
	通年		①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、伴奏法・音楽史より修得する。
第3年次	前期	①カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法も含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、声楽・器楽の各専門分野より修得し、合奏を通して協調性を育む。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高音楽科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「音楽」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、声楽・器楽の各専門分野より修得し、より深く理解する。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高音楽科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「音楽」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
	通年		①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、合唱・邦楽より修得し、協調性を育み、日本の伝統的な音楽も学ぶ。
第4年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、編曲を含む作曲法より身につける。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①「教職実践演習（中高）」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法も含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

■音楽学部 応用音楽学科 到達目標（音楽）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①中高教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②教職並びに中高教職課程の特質と概要を理解する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、声楽実技・ピアノ実技・和声法より修得する。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム（発達と障害を含む）に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、ソルフェージュ・声楽実技・ピアノ実技より修得する。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、指揮法より修得する。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高音楽科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。
	後期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③一人ひとりの生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、指揮法より修得し、理解を深める。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高音楽科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、教材分析や授業構想のための知識・技能を身につける。
	通年		①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、器楽・音楽史より修得する。
第3年次	前期	①カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法も含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、器楽合奏より修得し、合奏を通して協調性を育む。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高音楽科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高音楽科の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ②中高音楽科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「音楽」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
	通年		①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、合唱より修得し、協調性を育む。
第4年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、編曲を含む作曲法より身につける。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①「教職実践演習（中高）」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、邦楽より修得し、日本の伝統的な音楽をより深く理解する。 ②中高教科「音楽」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法も含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	①中高教科「音楽」を教授するに足る基礎的理解及び技能を邦楽より修得し、日本の伝統的な音楽も学ぶ。

■薬学部 健康生命薬科学科 到達目標（理科）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①中高教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②教職並びに中高教職課程の特質と概要を理解する。	①中高教科「理科」に関する専門的知識（化学・生物学）を修得する。 ②中高教科「理科」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム（発達と障害を含む）に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「理科」に関する専門的知識（物理学・化学・生物学）を修得する。 ②中高教科「理科」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「理科」に関する専門的知識（化学・生物学）を修得する。 ②中高教科「理科」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高理科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。
	後期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③一人ひとりの生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。	①中高教科「理科」に関する専門的知識（生物学・地学）と技能（実験法）を修得する。 ②中高教科「理科」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高理科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、教材分析や授業構想のための知識・技術を身につける。
第3年次	前期	①カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①中高教科「理科」に関する専門的知識（生物学）と技能（実験法）を修得する。 ②中高教科「理科」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高理科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「理科」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①中高理科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「理科」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
第4年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	
	後期	①「教職実践演習（中高）」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

■環境共生学部 環境共生学科 到達目標（理科）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①中高教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②教職並びに中高教職課程の特質と概要を理解する。	①中高教科「理科」に関する専門的知識（化学・生物学）を修得する。 ②中高教科「理科」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学習者の心理と学習のメカニズム（発達と障害を含む）に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「理科」に関する専門的知識（化学・生物学・地学）と技能（実験法）を修得する。 ②中高教科「理科」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。 ③人間の発達と障害に関する基礎的知識を修得する。	①中高教科「理科」に関する専門的知識（物理学・化学・生物学）を修得する。 ②中高教科「理科」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高理科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。
	後期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③一人ひとりの生徒の人格を尊重した生徒指導や、生徒の意欲や適性を考慮した進路指導に必要な知識・技能を身につける。	①中高教科「理科」に関する専門的知識（化学・生物学）と技能（実験法）を修得する。 ②中高教科「理科」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ③中高理科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、教材分析や授業構想のための知識・技術を身につける。
第3年次	前期	①カウンセリングを含め、教育相談の理論と方法を、実践的な観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。	①中高教科「理科」の内容との関連性について、自主的に探究する方法を身につける。 ②中高理科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「理科」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識、及び技能を身につける。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①中高教科「理科」に関する技能（実験法）を修得する。 ②中高理科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、中高教科「理科」の授業を構想し、実践し省察する一連の授業実践研究の方法と態度を身につける。
第4年次	前期	①教育に関する理念・思想・歴史を中心に、それらの基礎的知識を修得する。 ②教育実習生は、中高教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	
	後期	①「教職実践演習（中高）」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

■食物栄養科学部 食物栄養学科 到達目標（栄養教諭）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等	栄養に係る教育に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①栄養教諭教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②栄養教諭の特質と概要を理解する。	
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②栄養教諭として求められる教職実践力の土台となる教育心理学について、基礎知識を修得する。	
第2年次	前期	①教育課程の基本構造と教育実践との関連性を理解する。 ②教職実践力の基礎となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解・制度・経営について、基礎知識を包括的に修得する。	
	後期	①道徳教育の理論と実践について基礎的知識及び技能を修得する。 ②情報通信技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ③生徒指導の理論と方法について、教職に関する基礎的知識及び技能を修得する。	①栄養教諭として必要な専門的知識及び技能を、「学校栄養教育・指導論Ⅰ」より修得する。
第3年次	前期	①特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。 ②教育相談の理論及び方法を中心に、栄養教諭教職に関する基礎的知識及び技能を修得する。	①栄養教諭として必要な専門的知識及び技能を、「学校栄養教育・指導論Ⅱ」より修得する。 ②上記①と栄養教育実習（特に授業及び栄養指導）とのかかわりを考慮し、それらの実践上の意義及び具体的内容を自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①総合的な学習・探究及び特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導に必要な知識及び技能を身につける。 ②教育実習生は、栄養教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	
第4年次	後期	①「教職実践演習（栄教）」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	